

バラバラな現場データを一元化、保守メンテナンス業務をもっとスマートに！

～ データ活用に関してこんなお悩みありませんか？ ～

- ・ 現場データを分析・活用するためにセンサやデバイスをIoT化したい
- ・ 複数ある拠点や広大な現場に散らばるバラバラな現場データを統合したい
- ・ データの一元管理や遠隔からのモニタリングによる業務効率化を図りたい

ヒト・モノ・環境のデータの収集・蓄積・活用により企業の現場DXを加速させる、**ソリューション型IoTプラットフォーム**をご紹介します。

保守メンテナンス現場での課題

近年、人口減少に伴う**後継者不足に悩むメンテナンス現場**。一方でDXやデジタル化が進む中、生産性向上のためにどんな取り組みが必要か、頭を悩ませている方も多いのではないのでしょうか。本ウェビナで紹介するデジタルプラットフォームなら、センサによるデータ収集から時系列データ生成、クラウドへのアップロードまで一気通貫で実現可能。圧倒的なスピードとコスト削減を実現します。

現場データ×AIで迅速に解決

従来、現場には多様な装置や対応方法があり、メンテナンスは属人化し時間と手間がかかっていました。この課題を解決するため、遠隔からアラート情報、カメラ映像、位置情報を収集・可視化し、チャット機能で現場データとマニュアル、**過去のメンテナンス情報を一元管理**できます。

さらに、タブレットや音声指示で遠隔操作も可能。**迅速な意思決定と現場改善**を実現します。

生成AIを活用した新しい現場DX

BizStackでは、取得した現場データを使い、ダッシュボード作成や日報集計、画像データ連携による分析が可能です。収集データやトレンドはチャットやインカムで即時通知できます。さらに、自走ロボットとカメラ画像で遠隔監視し、急なトラブル時も迅速に対応できます。

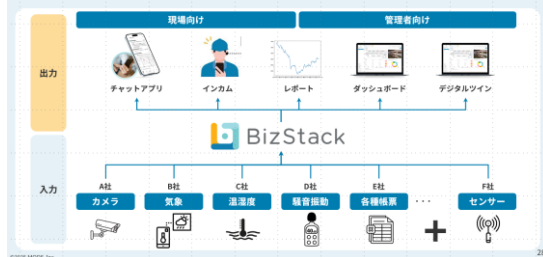
センサやシステムが増えてもBizStackなら使い方は変わりません。面倒な開発はお任せください、最新の現場DXをご提案します。

■ 本日の登壇者 ■



MODE, Inc.
事業開発シニアマネージャー
道間 健太郎 氏

BizStackを活用した統合管理のイメージ



遠隔解決による業務効率の実現

出所：MODE投影資料より抜粋

[他記事、ウェビナ情報はこちら](#)



エンジニアよりそらマガジンサイト